

自転車事故の特徴等について

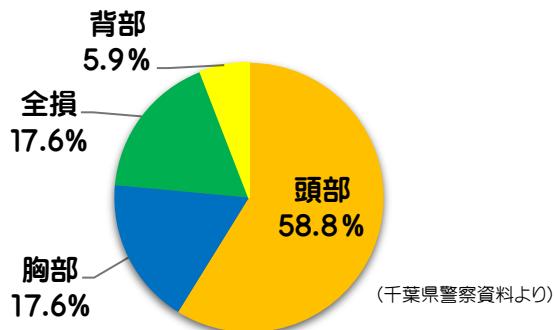
職業別年齢別自転車乗車中死傷者数について (千葉県警察資料「高校生の自転車事故の特徴等について」より)



上のグラフは、令和6年中に千葉県内において、自転車乗車中の交通事故により死傷した人を年齢別に表したグラフです。高校生の死傷者数が、他の年齢に比べ突出しています。

自転車乗車中の死者損傷部位と自転車乗車中の交通事故で主に頭部を負傷した死者・重傷者のヘルメット着用率比較について

自転車乗車中の死者損傷部位(令和6年)

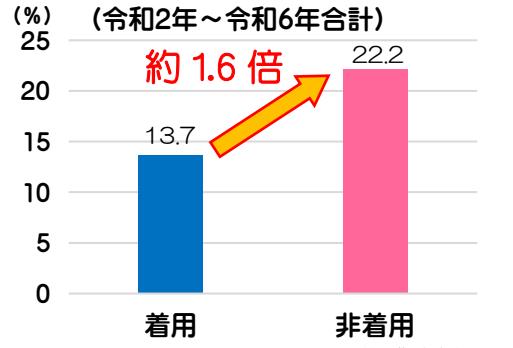


※損傷部位については、全年齢による統計である。

※死者損傷部位の全損とは、人体に損傷が多数あり、致命傷が複数ある場合である。

※円グラフは、少数点第二位で四捨五入しているため、構成の和が100%にならない場合がある。

自転車乗車中の交通事故で主に頭部を負傷した死者・重傷者のヘルメット着用率比較



自転車事故で亡くなられた方の約6割が頭部に致命傷を負っています。また、頭部を負傷した死者・重傷者の中で、ヘルメットを着用していなかった方の割合は、着用していた方に比べて約1.6倍高くなっています。

自転車事故に遭ったが、ヘルメットを着用していたため一命をとりとめた事例 (県立学校事故報告より)

千葉県の県立学校に通う生徒Aは、下校時に自転車で走行中、道路の左側から右側車線へ進路を変更したところ、後方から直進してきた自動車と衝突してしまった。その際、生徒Aは、自動車のボンネット及びフロントガラスに激突するなど、全身を強打し、病院へ救急搬送された。

診断の結果、生徒Aは肋骨及び手首骨折等の全治2か月の重傷を負ったものの、事故の際、ヘルメットを着用していたため、致命傷となる頭部の大きな損傷を免れ、一命をとりとめた。警察によると、ヘルメットを着用していなければ、もっと違った被害状況になったであろうとのことであった。

生徒Aは大きな交通事故に遭ってしまったが、ヘルメットの着用により、命が救われたのである。

自転車通学の際、ヘルメットを必ず着用しましょう。

◎ヘルメットの購入費の一部を助成している市町村があります。

詳しくは、お住いの市町村にお問い合わせください。

検索:千葉県ホームページ(自転車乗車用ヘルメット購入補助事業)



千葉県マスコットキャラクター
チーバくん